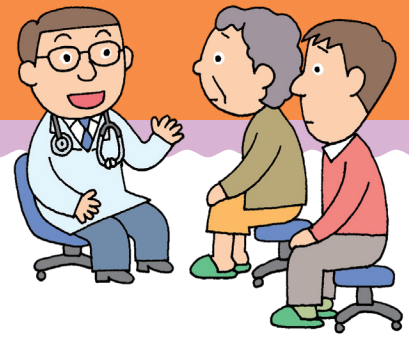


認知症の方の医療



認知症は早期の発見が大切です

認知症は早期発見と治療がとても大切な病気です。進行性の病気ですが、早期に発見して適切な対応をすれば、その人らしい充実した暮らしを続けることができます。

急に症状が出たり、変化があった場合は他の病気が疑われます。**早急に病院受診**をしましょう。

早期発見による3つのメリット

メリット 1 治療可能な認知症があります

早期に発見し早期に治療をはじめることで、改善が期待できるものがあります。

治療可能な認知症

- 例 ●正常圧水頭症
●慢性硬膜下血腫
●甲状腺機能低下 など

メリット 2 進行を遅らせることが可能な場合があります

認知症の症状が悪化する前に適切な治療やサポートを行うことによって、その進行のスピードを遅らせることができます。

メリット 3 事前にさまざまな準備ができる

早期発見によって、症状が軽いうちに本人や家族が話し合い、今後の治療方針を決めたり、利用できる制度やサービスを調べたりする「認知症に向き合うための準備」を整えることができます。

どこに相談・受診すればよいの？

ポイント まずは、かかりつけ医に相談しましょう

かかりつけ医は病気の治療だけでなく、必要な時には専門医療機関を紹介する役割を持っています。「認知症の始まりかな？」と感じたらかかりつけ医に相談しましょう。



紹介状

受診するときのポイント

- いつ頃からどのような変化や症状が出てきたのか
- 現在困っていること、心配なこと
- 生活状況

などをなるべく詳しく書いて持っていくと相談したいことが伝えられます。



専門医療機関への受診

専門医のいる物忘れ外来のある病院や神経内科、脳神経外科、精神科などへの受診をしましょう。

受診の際には、**前もって電話で問い合わせのうえ予約を入れてください**。またその際に受診の流れ、鑑別診断までの受診の回数やそれに掛かる費用なども事前相談するとよいでしょう。



家族から受診をすすめる時の工夫

病気に対する不安や否定したい気持ちから受診を拒むことがあります。

性格や状況によって声かけ方法は異なりますが、一番大切なことは「自尊心を傷つけないこと」です。本人の気持ちを十分に受け止め声かけをしてみましょう。

なかなか受診につながらないなど、対応に困ったら、かかりつけ医や地域包括支援センター(☎098-936-1234)に相談しましょう。